



昭和区は どんなまち？

1 昭和区の特長

昭和区は、名古屋市のほぼ中央に位置しており、東西約5km、南北約2kmの長方形のかたちをしています。地形は概ね平坦で、区内のほとんどが良好な住宅地域となっており、区の中央部を流れる山崎川をはさんで東部にかけてはゆるやかな丘陵地となっています。また、鶴舞公園、吹上公園、興正寺公園等の公園は市民の憩いの場となっているほか、災害発生時には防災公園として機能する川名公園が整備されています。

2 南海トラフ地震が発生したら…

昭和区では、津波による被害想定はないけど、震度6弱から震度6強の揺れが起きます。



地震から命を守るためには、まず家庭の防災対策を進めよう！特に、**家具等の転倒防止対策が必要です。**

3 地域防災力の向上にむけて…

地域とともに総合水防訓練や総合防災訓練などを実施することで、防災体制の確認や防災意識の醸成を図っています。また、学区や町内会単位で防災に対する訓練や話し合いなどの取組みを実施している地域もあります。



★個人や家族の力、そして近所、町内会、学区などの**地域コミュニティ**のなかで**助け合っていく**ことが、防災・減災を実現していく上で非常に大切になりますので、お住まいの地域(学区)で行われる防災訓練を始めとした様々な行事に、積極的に参加しましょう。

防災公園としての川名公園の特徴

川名公園は、約28,000㎡の避難有効面積があり、災害時には広域避難場所だけでなく、区内唯一の防災施設を活用して区民の命と安全を守る役割を担います。

総合防災訓練の様子 (令和元年度：川名公園)

図:昭和土木事務所から提供



ヘリコプターの着陸訓練



応急給水訓練



その他の広域避難場所

鶴舞公園、吹上公園、興正寺公園も広域避難場所に指定されています。



放水訓練

防災施設名	
	仮設トイレ マンホールふたをはずし、仮設トイレを組み立てて使用します。
	応急給水施設 仮設の給水栓を設置して飲み水を配ります。
	井戸 生活用水(飲用不可)や仮設トイレの排水に利用できます。
	災害対応型日かげ棚・あずまや シートで覆うことにより、風雨を防ぐことができます。

※この他にも、災害対応型トイレやソーラー照明灯など、各種の防災施設が設置されています。